

# 鶏 鳴

けいめい

## イエスの言葉

『柔和な人々は幸いである、

その人たちは地を受け継ぐ』

聖書(マタイ福音書5章5節)

牧師 河合裕志

柔和な人とはどんな人、性質や表情が優しくおとなしい人、温和、穏やか、いつもニコニコしている、スマイルをたやさない、みだりに争わない、激さない、和を大切に、謙虚、偉ぶらない、高ぶらない……まだまだいろいろとあげられるかも。

こういう人って私達の回りにもいるね。あの人は柔和な人だなあ、柔和な顔つきをしている、顔が輝いている。こんな人に私達もなれたらいいのだけれど、これはなかなか難しい。そんないつもニコニコなんかしてられない。世の中、なにかとアタマに来ることが少なくない。気に入らない人にもぶつかる。カッとする。

イエスはどうだったんだ。イエスは柔和な人だったのか。柔和な人だったと思う。小っちゃな子ども達が、イエスさま〜とかけ寄って来る、これを抱っこして頭を手をおいて祝福してあげる、こんな福音書の記述を見ればそう想像してもよいのでは？これがしかめっつらして、こわい顔をしているのであれば子達は近寄ってこないだろう。ニコニコ顔をしていたらう。

イエスが背の低いろばに乗ってゆらりゆらりとエルサレムに入城して行った時、大勢の群衆が歓呼の声をあげて迎えた。前方

には十字架の影が見えていた筈なのでイエスの顔はけわしくてよい。しかしマタイは「見よ、お前の王がお前のところにおいになる、柔和な方で、ろばに乗り」と記している。この時もイエスは優しく温和、スマイルをたたえていたのでは？

イエスは怒ることもあった。偽善者には怒りを表わにした。無慈悲な者にも。祈りの場であるべき神殿境内で商売をしている者達には実力をもって排除した。だからイエスの柔和さは何かフニャフニャ、優柔不断、何でもござれ、ただニコニコしていたというのとは違う。一本スジ、シンが入っているようなものだった。普段は柔和。しかしここぞ、という場面には、キチンとモノ申す、内に強さを秘めた柔和さ、これがイエス流。

柔和な人は地を受け継ぐとは幸せになりますよということだろう。人に優しく穏やかに接することを心がければ人との付き合い、家庭、仕事といったこともスムーズに運ぶ率は高い。中には沢山の収入を得て土地を持つ人も出て来るかもしれない。しかしその場合にも忘れてはならないのはいずれ天の国を受け継ぐ者となること。そうなりたいもの。

### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

英語聖書を読む会：日曜日午前9時半

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時